

## 製品安全データシート(MSDS)

### 製造者情報

会社名 ジェフコム株式会社  
住所 〒579-8014 東大阪市中石切町 3-13-16  
担当部門 品質管理課 担当者 前澤 充  
電話番号 072-961-9843 FAX 番号 072-961-9845

作成 2009年9月9日  
改訂 年 月 日

整理番号 MSDS 09-001

製品名 デンサンウェットムース ( NDM-420 )

[組成、成分情報] 単一製品混合物の区別：混合物

化学名 含有量 化学式又は構造式  
(wt%)

官報公 CAS  
示整理  
番号

パラフィンワックス ( 詳細は開示せず )  
POE アルキルアמידアミン ( 詳細は開示せず )  
POE アルキルエーテル ( 詳細は開示せず )  
多価アルコール ( 詳細は開示せず )  
水 ( 詳細は開示せず )  
n - ブタン CH<sub>3</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>  
i - ブタン ( CH<sub>3</sub> )<sub>2</sub>CHCH<sub>3</sub>  
その他 ( 詳細は開示せず )

2-4 106-97-8  
2-4 75-28-5

[危険有害性の分類] 分類の名称：可燃性高圧ガス

危険性： 可燃性の高圧ガスで、空気と爆発性混合ガスを形成する。  
可燃性の高圧ガスが入っているため、温度が上昇すると破裂の恐れがあります。  
有害性： 至近距離から直接皮膚に噴射すると凍傷をおこす。  
環境影響： 環境に関する情報はない。

[応急措置]

目に入った場合： 流水で15分間以上洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。  
皮膚に付着した場合： 皮膚に付着した部分を多量の水又は石鹼で充分洗い、異常があれば医師の診断を受ける。  
吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起こった場合は、速やかに医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合： 無理にはきださせない。異常があれば、医師の診断を受ける。

[火災時の措置]

消火方法： 初期の火災には、粉末、炭酸ガス等の消化剤を火元に放射、散布するなどして消火する。大規模火災の際は、泡消火剤等を用いて空気を遮断する方法や霧状水を用いて火災にさらされた表面を冷却する方法も有効である。  
エアゾール製品であり爆発する恐れがあるため、消火活動は十分距離をとり、風上から行う。  
消火活動の際は必ず保護具を着用する。  
高温にさらされる製品に水をかけて冷却する。ただし、製品に水をかけたまま放置するとサビで破裂する恐れがあるので冷却後早急に取り除くこと。  
周辺の火災の場合は速やかに製品を安全な場所に移動する。  
消化のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消化剤： 粉末、炭酸ガス、泡、砂等

[漏出時の措置]

- 人体に対する注意事項** エアゾール製品であり、飛散により人体や目にかからないように注意すること。  
屋内であれば、換気を良くする。  
作業の際には、必ず適切な保護具（手袋、防護マスク、ゴーグル等）を着用し、  
飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項** 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。
- 除去方法** 少量の場合は吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りを  
ウエス・雑巾などで良くふき取り多量の水で洗い流す。  
危険でなければ、漏れを止める。  
漏出物を取り扱うよきに用いる全ての設備は接地する。
- 二次災害の防止策** 付近の発火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。  
床にぬれた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるために  
注意する。  
付近の火気を止める。

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い：** 炎や火気の近くで使用しないこと。  
火気を使用している屋内で大量に使用しないこと。  
火の中に入れてないこと。  
使い切って捨てること。  
その他製品に明記の用途、注意事項を守ること。  
作業場の換気を十分行う。  
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
取り扱い後は手・顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管：** 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光のあたるところや火気等の近くなど温度が  
40 以上となる所におかないこと。  
水まわりや湿気の多い場所に置かないこと。  
屋内冷暗所  
子供の手の届くところに置かないこと。

[暴露防止及び保護措置]

- 管理濃度：** 設定されていない
- 許容濃度：** 日本産業衛生学会  
n - ブタン：500ppm  
A C G I H  
固形パラフィン：2mg / m<sup>3</sup>（ただしヒュームとして）  
プロパン：1000ppm  
n - ブタン：800ppm
- 設備対策：** 特になし
- 保護具：** 呼吸用保護具
- 保護眼鏡：** ゴーグル
- 保護手袋：** ゴム手袋
- 保護衣：** 静電気防止機能付長袖作業衣

[物理及び化学的性質]

- 外観：** 白色液体（原液）
- 臭い** データなし
- 沸点、初留点と沸点範囲：** データなし
- 蒸気圧：** 0.55MPa（25℃）
- 蒸気密度（空気 = 1）** データなし
- 揮発性：** データなし
- 融点、凝固点：** データなし
- 比重：** 0.99（原液）

pH : 9.8  
N-オクタノール/水分配係数 データなし  
溶解度 : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
爆発範囲 下限 : 1.8% (噴射剤)  
上限 : 9.5% (噴射剤)  
分解温度 : データなし

---

[安定性及び反応性]

安定性 : データなし  
反応性 : 酸化性 : なし  
避けるべき条件 : 高温への暴露  
混触危険物質 : 容器が腐食するおそれがあるので、酸及びアルカリとの接触を避けること。

---

[有害性情報] 人についての症例、疫学的情報を含む

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2B (区分2B物質13.6%含有)  
急性毒性 : 経口 : 区分外  
経皮 : 区分外  
吸入(蒸気) : 区分外  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データなし  
皮膚感作性 : データなし  
生殖細胞変異原性 : データなし  
発がん性 : データなし  
生殖毒性 : 区分外  
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分外 (区分3(麻酔作用)物質9.9%、区分3(気道刺激性)物質13.6%含有)  
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 区分外  
吸引性呼吸器有害性 : 区分外

---

[環境影響情報]

水生環境急性有害性 : 区分外 (該当物質が区分外)  
水生環境慢性有害性 : データなし  
残留性・分解性 : データなし  
生態蓄積性 : データなし  
土壤中の移動性 : データなし

---

[廃棄上の注意]

残余廃棄物 : 少量の場合 : 火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いてから捨てること。  
大量の場合 : 許可を受けた廃棄物処理業者と契約を結び、廃棄処理を行うこと。  
汚染容器・包装 : 地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う。

---

[輸送上の注意]

国連分類及び国連番号 : 1950  
クラス : 2.1  
国際規制 : 海上規制情報 : IMO 規定に従う  
航空規制情報 : ICAO/IATA の規定に従う  
国内規制 : 陸上規制情報 : 消防法、高圧ガス保安法に従う  
海上規制情報 : 船舶安全法に従う  
航空規制情報 : 航空法に従う

---

[適用法令]

|          |              |
|----------|--------------|
| 高圧ガス保安法： | エアゾール        |
| 消防法：     | 該当しない        |
| 労働安全衛生：  | 名称等を通知すべき有害物 |
| 船舶安全法：   | 危険物（高圧ガス）    |
| 航空法：     | 高圧ガス         |

---

[その他の情報]

改正建築基準法(H14/7/12 施行)で規制された化学物質(クロルピリホス及びホルムアルデヒド)は当製品には一切含まれていません。

本データシートは当該製品の一般的取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めた物ですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正をすることがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは、安全性の評価を行って下さい。本データシートは保証値ではありません。

---